

文 書 番 号

年 月 日

殿

金融機関等名

代 表 者 \_\_\_\_\_ 印

所 在 地 \_\_\_\_\_

部 署 ・ 担 当 者 \_\_\_\_\_

電 話 番 号 \_\_\_\_\_

## 疑わしい取引の届出について

組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律第54条第1項の規定に基づき、下記のとおり届け出ます。

## 記

取引（成立・未成立）

## 1 取引の相手方

フリガナ

氏名又は名称 \_\_\_\_\_ (個人・法人) 生年月日又は設立年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

性別 男・女・不明 住所又は所在地 \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_

国 籍 \_\_\_\_\_ 在留資格 \_\_\_\_\_ 勤務先 \_\_\_\_\_

フリガナ

(法人の場合) 代表者氏名 \_\_\_\_\_ 事業内容 \_\_\_\_\_

本人確認 運転免許証・旅券・各種健康保険証・その他( \_\_\_\_\_ )

書類番号( \_\_\_\_\_ ) 不要 未済 不明

## 2 取引に関する情報

届出を行う理由 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

総取引件数 \_\_\_\_\_ 件 取引年月日 \_\_\_\_\_ 年 月 日 取扱支社等 \_\_\_\_\_

取引形態 \_\_\_\_\_ 業務の内容 \_\_\_\_\_ 保険証券番号 \_\_\_\_\_

財産の内容 \_\_\_\_\_ 通貨単位 \_\_\_\_\_ 手形・小切手番号 \_\_\_\_\_

被保険者名 \_\_\_\_\_ (個人・法人) 受取人名 \_\_\_\_\_ (個人・法人)

取引銀行等名・支店等名 \_\_\_\_\_ 口座種類 普通・当座・その他( \_\_\_\_\_ )

口座番号 \_\_\_\_\_

## 3 備考

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

添付資料の有無 有・無 添付資料名 \_\_\_\_\_ 枚数 \_\_\_\_\_ 枚

( 記載上の注意 )

1 全 般

(1) 本届出は、取引の相手方ごとに提出する。なお、複数の取引が発生した場合は、「2 取引に関する情報」欄を、適宜、別紙に記載して提出する。

(2) 全て西暦で記入する。

(3) 取引が成立した場合には、「1 取引の相手方」欄中「氏名又は名称」及び「本人確認」、「2 取引に関する情報」欄は必ず記入する。また、取引が未成立の場合にも、「届出を行う理由」については、必ず記入する。

なお、それ以外の情報についてもできる限り記入するものとする。

(4) 「文書番号」は、金融機関等ごとに歴年による一連番号を記入する。

2 「1 取引の相手方」欄

(1) 「氏名又は名称」は、外国人等の場合、原則としてアルファベットで記入する。

(2) 「在留資格」は、日本国籍以外の者について、外国人登録証明書等に記載されているものを記入する。

(3) 「本人確認」は、該当する書類に 印を付し、「書類番号」は、本人確認書類の番号を記入する。

なお、本人確認を行っていないもの等は、該当するものに 印を付す。

3 「2 取引に関する情報」

(1) 「総取引件数」は、本届出に含まれる取引の合計件数を記入する。

(2) 「取扱支社等」は、取引の発生した支社等の名称を記入する。

(3) 「取引形態」は、窓口、A T M、訪問等を記入する。

(4) 「業務の内容」は、保険金、満期返戻金、解約返戻金、保険契約、融資実行・返済、国債等有価証券購入・売却等の別を記入する。

(5) 「保険証券番号」は、保険証券の番号を記入する。

(6) 「財産の内容」は、金銭の場合は取引金額を記入する。

(7) 「手形・小切手番号」は、手形・小切手を使用している場合に記入する。

(8) 「取引銀行等名・支店等名」、「口座種類」及び「口座番号」は、当該取引が銀行等の預金口座等を介している場合に記入する。

4 「3 備考」欄

(1) その他参考となるべき事項を記入する。

(2) 「添付資料名」は、本届出に参考となる資料名を記入する。